

競技ルール

	違反の場合の処置
5人制フットサル。(内1名はゴールキーパー)	4人以上そろわない時は失格。(3人では不可)
コーナークickから直接得点できる。	(kickオフから直接得点は認められない)
ペナルティーエリア内でのシュートは認められる。	
スライディングタックルは禁止。	・違反地点から直接フリーkick
肩によるものも含めて、相手をチャージしてはならない。	・違反地点から直接フリーkick
直接フリーkick	・違反地点から直接フリーkick ・ペナルティーエリア内は、ペナルティーkickを与える。(6m)
間接フリーkick	・違反地点から間接フリーkick ・ペナルティーエリア内の場合は、最も近いペナルティーエリアから間接フリーkick。
ゴールキーパーは、ペナルティーエリアを出てプレーできる。	
ゴールキーパーは、手で受けたボールを蹴ってはいけない(パントkick)。	
ゴールキーパーが手で受けたボールを投げ、相手ゴールに入った場合はノーゴール。	・相手側のゴールクリアランス
味方選手が意図的にゴールキーパーにkickしたボールを手で触れてはならない(バックパス)。	・最も近いペナルティーエリアラインから間接フリーkick
ゴールクリアランスから直接得点はできない。	・ゴールインした場合は、相手側ゴールクリアランス。
ゴールクリアランスは、ペナルティーエリアの外へ直接投げられる。センターラインを超えてはいけない。但し、プレー中のスローイングは超えても可。	・ペナルティーエリアを直接出ない場合は、再度行う。 ・クリアランスされた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを超えた時は相手側に間接フリーkick(ハーフウェーラインの任意の地点)
ゴールクリアランスは、ボールを保持し、投げられる体勢になってから4秒以内に投げなければならない。	・最も近いペナルティーエリアラインから間接フリーkick
コーナークickは、ボールをセットしてから4秒以内に行わなければならない。	・コーナークickから相手側間接フリーkick
コーナークickの際、相手側選手は5m以上離れなくてはならない。	・再度コーナークickを行う。
kickインから直接得点はできない。	・ゴールインした場合は、相手側ゴールクリアランス。
kickインを行う時は、ボールをライン上に静止させ、いずれかの足をライン上又はライン外のピット面について行う。(足を踏み越さないこと)	・相手側kickイン
kickインは、ボールをセットしてから4秒以内に行われなければならない。kickインの際、相手側選手は5m以上離れなくてはならない。	・相手側kickイン ・再度kickインを行う。(プレーされる前に、審判が指示して下さい)

このフットサルルールは低学年用に野田市サッカー協会第4種が行っている変則のルールです。